

若者のための就職応援マガジン

沖縄県



ジョブナビ
プラス

Job Navi+

Vol.11
2021.3



Contents

- 【業界研究セミナーmini】
今ドキの第1次産業—農業の新しいスタイル
- 【スタッフコラム】
人生の転機で気づいたこと
- イベント情報、おすすめ本

LINE@

ID:@caf6293w

LINE 友だち追加

Twitter

ID:@okinawakencc

Follow



Okinawaken Career Center

沖縄県キャリアセンター





今ドキの第1次産業 —農業の新しいスタイル



写真提供協力：株式会社徳森養鶏場様

今、生産者が自分たちで作った作物を加工・販売までプロデュースしていく**6次産業化**が進んでいます。

株式会社徳森養鶏場のノーマン裕太ウエインさんもその担い手の一人。

ノーマンさんが講師を務め、自身の挑戦を語った「業界セミナー『今ドキの第1次産業』」の取材とインタビューから、変化する農業の今をお伝えします。

養鶏場をもっと有名にしたい

ノーマンさんが経営するのは、うるま市にある創業53年の「徳森養鶏場」。3万羽の鶏を飼育し、卵の生産・販売などを行っています。

4年前、おじい様から養鶏場を継承し、鶏や卵のことも勉強中の身で経営者に。「経営者として準備ができたとは言えないスタートだった」と振り返ります。

転職がきっかけとなり養鶏の道へ。もともと農業をやりたいと思っていたわけではなかったものの、養鶏の仕事に関わっていく中で「もっと効率よくできないか」と気づいたそう。

先代の方針は、卵の生産に特化していたため、卵を市場に卸すと、徳森養鶏場の名前ではなく「沖縄県産たまご」として流通。地元の人にも養鶏場の存在をあまり知られていなかったことを知り、ノーマンさんは「**祖父が50年も続けてきた歴史もある。もっと有名にしたい**」という思いが芽生えたといいます。



1/20に開催した業界セミナーの様子

卵の価値が下がって…

「**価格の優等生**」と言われるほど、大きな価格変動がなかった鶏卵。しかし、今では飼料も高騰し、鶏卵市場では1キロあたりの価格が時期によって変動。経営が市場に左右されるようになりました。

そんな中、2年前に鶏卵が大暴落。以前の18分の1まで価格が落ち込み、全国で100件もの養鶏場が廃業に追い込まれる事態に。ノーマンさんは「生産だけのやり方から変えていかないといけない」と実感。

全国では100万羽規模で経営する養鶏場が多く、3万羽の徳森養鶏場とは生産量の多さやコストが違います。他社と差別化し、収益をあげるため「**自分たちで販売して独自のブランドを作っていかなければ**」と決意します。

自らの手でブランドを創る

「徳森養鶏場らしいブランドを」と取り組んだのが、地元の特産物を活用した卵の開発。

卵の見た目や風味を変えるため、パウダー状にしたうるま市の特産物を、鶏の飼料に混ぜて試験を行いました。細かい分析を重ね、黄身の色や味のバランスが一番良かったのは**伊計島産の**

黄金芋。農家が処理に困っている規格外の芋を調達。年中確保できるメリットも合わさって、鶏3万羽分の大量生産を可能にしました。

黄金芋が活用されたブランド卵には、さらなるストーリーが。徳森養鶏場の鶏の飲み水は、「黄金水（くがにみじ）」と呼ばれる与勝の地下ダムの水。

【黄金】というキーワードで繋がった卵は「**くがにたまご**」と命名されました。

紙製の卵パックに養鶏場のオリジナルロゴを入れるなど、パッケージデザインも工夫。独自のブランドを打ち出します。

現場では「なぜ作る必要があるのか」とブランド化に反対の声も。意見の違いに苦戦しながらコミュニケーションを重ねた結果、ブランド化実現に向けて、チーム一体となって動き出すことができました。





卵の可能性を広げる

うるま市にある農水産物の直売所「うるマルシェ」でデビューしたくがにたまご。メディアにも取り上げられ話題に。そして、うるマルシェでの総合売上1位となり、徳森養鶏場の名が地域に広がっていきました。

卵の自家販売にとどまらず、加工品の開発、アパレルブランドやカフェの経営と、新たな展開も。コロナウィルスの影響により自家販売の売上は減ったものの、リモートワークの普及がプラスになり、オンラインショップに力を入れられたとのこと。社会の急激な変化に対しても、「『食』はなくてはならないもの。自分たちは食を人々に届ける役目がある」と話します。

「養鶏業は伸びしろがまだたくさんある業界で『卵の可能性を広げる』ことがやりがい。『美味しかったよ、ありがとう』と人々に喜んでもらえるこ

とが、卵の可能性に繋がっている」と、ノーマンさんは目を輝かせました。

若い世代を巻き込みたい

現在、農業従事者の平均年齢は68歳といわれており、若い担い手はまだ少ない状況。ノーマンさんは、若い世代を巻き込みたいとの思いで「農家だっているいろんなことに挑戦していいじゃない」と、いろんな形でメッセージを発信しています。

農家のイメージを「どう伝えていくか」を大事にしているとのこと。より身近に感じてもらえるよう、ご兄弟と一緒に「ノーマンブラザーズ」としてSNSにも活動の幅を広げます。

ほかにも、プロ卓球チームのスポンサーとして『挑戦する人たち』を後押し。さらに、地元の中学・高校での講話などを通して、若い世代と積極的に繋がる活動をしています。



Youtubeチャンネル「ノーマンブラザーズ」より

将来の担い手に向けて

今後、養鶏場で「働きたい」という若い人がきたら、どんな風に関わって欲しいか聞いてみました。

「最初は養鶏場のいろんな動きを把握することから。雛や鶏の飼育・生産や販売もオールラウンドで覚えてもらう」とのこと。毎朝行う鶏舎の点検、集卵、販売準備といった日々の作業に加え、「鶏や卵の知識を習得していくことが大事」だと説明。

新たな取り組みに向けてどんどん変化する現場。「一緒になって養鶏場のブランドをつくっていく、という当事者意識を持って欲しい。積極的に提案や意見を交わせるよう、柔軟さを持って関わってもらえたら」。

頑張っているほうが楽しい

これから成長していく農業には、「成長するための負担をモチベーションに変えられる人が必要」だとノーマンさんは考えます。

「（筋肉痛のように）負荷がかからないと成長できないのは、会社も人も同じ。みんなが生き生きと養鶏に取り組めるよう、一緒に乗り越えて、笑えるような会社にしたい」と思いを込めました。

「頑張ってきた成果が見えてくるとやりがいになるし、楽しいですよ！」と笑顔で答えたノーマンさん。

就活を考えている人たちに向けても「一回ちょっと難儀してでも、頑張りぬく覚悟を決めて進んで欲しい。『全集中』して、自分にスイッチを入れてみて」と話します。

自分の方向性を見つけるには「最初から『絶対こうやりたい!』っていう思いがなくてもいい。日頃の努力や成果が評価されて、当初の予定とは違う方向に繋がっていくこともある」と教えてくれました。

一様々な可能性を見出して、農業のイメージを次々と塗り替えていく徳森養鶏場の試み。新たな働き方を示すロールモデルとして、ノーマンさんらの活躍に今後も目が離せません。



ノーマン裕太ウエインさん
(株式会社徳森養鶏場 代表取締役)



人生の転機で 気づいたこと

社会人として働いて、今年で10年。

学生時代に思い描いていたジブンの姿とは全く違う、想像もしていなかった人生を歩んでいます。

就活生の頃、私は、商品の買い付けなどをするバイヤーという仕事に興味を持っていました。



バイヤーの求人は、県内の企業ではなかなか見つからず、県外での就職を希望していました。

当時、県外の企業を受けたいときは、現地に行く方法しか知らなかった私は、渡航費、宿泊費などの費用がネックになり、県内で就職活動をすることになりました。

その後、県内の合同企業説明会に足を運び、十数社の会社説明を聞き、希望職種のある企業（小売業）と出会いました。

面接練習や履歴書添削など、しっかり対策をした結果、念願の内定をいただきました。

入社に胸を高鳴らせたことを今でも覚えています。

ところが、その2年後、業務中のケガが原因で続けることが厳しくなり、退職。やりたい職種の道が閉ざされてしまったようで、一時期、落ち込みました。

しかし、その出来事は自分にとってプラスになったこともありました。

自分はなぜバイヤーをしたいのか、じっくり考えるきっかけになったのです。



バイヤーになりたかった理由、それは「自分が仕入れた商品を購入したお客様の、喜ぶ姿が見てみたかったから」。

ただ、それはバイヤー以外の接客でも感じることもできたのです。品質や、品ぞろえなどで、お客様から感謝の言葉を頂けたという経験から、職種よりもお客さまに感謝されることが私の喜びだということに気づけたのです。

今、コロナ禍の影響もあり、就活生の方は、想像していた就活のイメージと全く異なる状況だという方も多いと思います。

先が見えず不安でしょうが、様々なライフスタイルの変化に合わせて、生き方を選べる時代になってきています。

今やりたいことが思いつかない方は探すことに固執せず、「自分の強み（できること／得意なこと）」「今、やらなければならないこと」「（仕事の場面で）うれしいと思うこと」などを見つめてみてもよいかもしれません。

イベント告知

①主催 ②お問い合わせ ③電話番号
※掲載情報は3月10日以降の情報です。

タイトル・対象	日時・場所	主催・お問い合わせ
マイナビ 就職セミナー（沖縄U・ターン） 2022年卒予定の高専・専門生・能開大・短大生・ 大学生・大学院生及び既卒3年以内	3月13日（土） 13:00～17:00 福岡県・FFBホール	① 株マイナビ沖縄支社 ② 株マイナビ沖縄支社 ③ 098-860-7891
マイナビ 就職セミナー合同企業説明会 2022年卒予定の高専・専門生・能開大・短大生・ 大学生・大学院生及び既卒3年以内	3月25日（木） 12:00～17:00 沖縄コンベンションセンター展示棟	① 株マイナビ沖縄支社 ② 株マイナビ沖縄支社 ③ 098-860-7891
アグレ新卒 就活festa（合同企業説明会） 2022年卒業予定の大学（院）・短大・専門・高 専・能開大の学生及び第二新卒者	4月2日（金） 11:00～17:00 沖縄コンベンションセンター展示棟	① 株求人おきなわ ② 株求人おきなわ ③ 098-862-2490
りゅうナビ 合同企業説明会 2022年大学院・大学・能開大・短大・高専・専門 学校・卒業予定者対象	4月9日（金） 13:00～17:00 沖縄コンベンションセンター展示棟	① 琉球新報社 ② 株琉球新報開発 ③ 098-865-5270
マイナビ 就職セミナー合同会社説明会 2022年卒予定の高専・専門生・能開大・短大生・ 大学生・大学院生及び既卒3年以内	4月25日（日） 12:00～17:00 沖縄コンベンションセンター展示棟	① 株マイナビ沖縄支社 ② 株マイナビ沖縄支社 ③ 098-860-7891

※詳しくは、[沖縄県キャリアセンターホームページ](#)
「[イベントカレンダー](#)」に掲載

おすすめ本

繊細すぎる人のための自分を守る声の出し方
司 拓也著（朝日新聞出版）



コンプレックスだったあがり症と小さな声を、ボイストレーニングで克服した著者が、自分を変える「声の出し方」を伝授！

堂々とした声の作り方や、緊張する場面でも動じず話せる会話の型、緊張や不安にとらわれない思考を作るメンタル術を紹介しています。

「自分に自信がない…」 「人の目が気になって緊張してしまう」とお悩みの方にオススメです。

自分に自信が持てるようになる、声のトレーニングを始めてみませんか？